

Concept

「工芸の五月」は2007年より、毎年5月にさまざまな企画を通して「工芸の町 松本」の魅力を育み、発信してきました。

工芸は、わたしたちの暮らしに根ざしたもの。季節を問わず日々の営みに寄り添い、暮らしをより豊かなものにしてくれます。

そして、松本のまちには店主の感性が息づくお店が数多くあります。個性豊かな店を舞台に、工芸との出会いを楽しみ、使う喜びを体験する企画として「満ちる工芸」は生まれました。

店を訪ね、人と出会い、手仕事に触れる。季節を変えた松本で、もうひとつの「工芸の町」の風景をお楽しみください。



Theme

満ちる工芸 二〇二六 「味わう」

器や道具が食を引き立て、工芸作品もまた、使われることによって、その真価を発揮します。松本市内の3つのお店と、長野県内の工芸作家との出会いが織りなす“満ちる”体験。食と工芸の巡り合わせを味わうひとときです。

＜お選びいただいた工芸作品で、会場となるお店の料理や飲み物を味わい、イベント終了後は作品をお持ち帰りいただけます＞

Contact

haruna_takahashi@matsumoto-crafts-month.com
工芸の五月企画室 高橋

※企画に関するお問い合わせは、各開催店舗および作家はお受けしておりません。お問い合わせの際は、お間違いないようお願いいたします。

Ticket

工芸の五月 ONLINE SHOPにて9月18日（金）より販売開始
・各回 5,500円（税込）
※3回通しでご参加いただいた方にはささやかなプレゼントをご用意いたします



工芸の五月 ONLINE SHOP

Credit

表紙・ロゴマーク hase
デザイン 林 絵子
文 杉田 映理子
主催 工芸の五月実行委員会
長野県松本市県 1-2-14-205 NPO 法人松本クラフト推進協会内



Instagram
@michiru.kougei

- 神無月 -
KUROSUGURI × 加藤 ある（豆皿）

季節の食材を取り入れたこだわりのお通しを、小さいながら個性が光る豆皿で。

開催日時：2026年10月25日（日） 15:00-17:00
会場：KUROSUGURI（松本市大手 2-1-4 桜風寮 1 階）
定員：10名
内容：KUROSUGURIのお通し・ドリンク1杯・選べる豆皿・満ちる工芸オリジナル巾着

KUROSUGURI

日本のお酒と豆皿おつまみの店。夫が育てる旬の素材を妻が最大限に生かしおつまみに仕立てる。5品のお通しは週替わり。畑の恵みがひと工夫で思いがけない美味しさに。



加藤 ある

愛知県瀬戸市出身、長野県下伊那郡在住。陶芸家。食器、花器、オブジェ等を制作。作品は静謐な佇まいの奥に土と火などの素材の力強い表情が息づく。



- 霜月 -
ジュレ・ブランシュ × 平林 秀幸（ナイフ・カッティングボード）

チーズナイフとカッティングボードで、ナチュラルチーズを食べ比べ。

開催日時：2026年11月21日（土） 15:00-17:00
会場：ジュレ・ブランシュ（松本市大手 2-10-2）
定員：12名
内容：チーズ4種・選べるカッティングボード・満ちる工芸オリジナル巾着（チーズナイフは貸出。購入可）

ジュレ・ブランシュ

2005年オープン。蔵造りのナチュラルチーズ専門店。チーズ・プロフェッショナルの店主が国内外から厳選したチーズと、チーズに合わせたワインを取り揃える。



平林 秀幸

塩江市を拠点に「ヒラバヤシヒデユキカコウジョ」としてアウトドアナイフや調理用ナイフを制作。木材や鹿角などの天然素材を取り入れた持ち手が特徴。



- 師走 -
aL coffee & bake × 青木 郁美・suloso・児玉 修治（マグカップ）

お気に入りのマグカップと出会い、香り高い自家焙煎コーヒーを堪能。

開催日時：2026年12月6日（日）
①10:00-11:30 ②13:00-14:30 ③15:00-16:30
※チケット購入ページにて参加を希望される回を選択ください
会場：aL coffee & bake（松本市大手 3-4-13）
定員：各回8名
内容：自家焙煎コーヒー1杯・限定焼菓子・選べるマグカップ・満ちる工芸オリジナル巾着

aL coffee & bake

自家焙煎スペシャルティコーヒーと手作りお菓子の店。コーヒーは常時5〜6種類から好みの味合いを選べる。訪れる人の日常に、穏やかな余白をもたらす。



①青木 郁美

松本市を拠点に、暮らしのそばにある自然素材や、身近な人々の営みから生まれたものを軸薬に用い、柔らかな表情の陶磁器を制作。自然循環を大切に、ものづくりに向き合う。



② suloso

下諏訪駅前に工房兼ギャラリーを構える。ぼつてりとしたかたちや、落ち着いた色合いの温かみある器は愛らしく、どこか懐かしさを感じさせる。



③児玉 修治

福岡県出身。2024年より安曇野市に工房を構える。手がける作品は、シンプルで洗練された佇まいでありながら、手仕事ならではの痕跡が美しく息づく。



MICHIRU KOGEI